

例会報告

第2434回例会報告議事録

日時 28年6月14日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「我らの生業」

ビジター：なし

ゲスト：ガバナー補佐 榎 隆夫 様

ガバナー補佐幹事 鈴木桂三 様

S.A.A.:高島会員

会長挨拶

瀧日会長



50周年の時の寄付に対して、米山記念奨学会より礼状が届いています。

寺嶋さんより地区幹事を1名推薦してほしいと依頼が来ています。今回は各クラブから地区幹事を1名出して欲しいそうです。我こそはという方がいらっしやらないようでしたら、次期会長の鈴木会員と相談して候補者を決めたいと思っています。

RIより2016年規定審議会の決定報告書というものが来ています。なんと91ページあります。ななめにざっと目を通しました。我々に関係ありそうなこととお話し申し上げます。決定報告書となっていますが、8月中旬頃まで意見書は出せます。

理事会のすべての会合について書面による議事録を作成し、当該会合後60日以内に全会員が入手できるようにするべきである、と書いてあります。我々は今まで、理事会を例会前に行い、決定事項を例会で口頭でご説明する形を取ってきましたが、今後は議事録を作成し提示する必要があるようです。

理事および役員に関して、今までは会計は理事会のメンバーにならなくてもよかったのですが、今後は、会計は理事会のメンバーに必ずなるということになります。

会場監督については細則で決めて理事会のメンバーとすることができるそうです。

クラブ内の委員会について、「本クラブは次の委員会を有すべきである」とあり、「クラブ管理運営、会員増強、公共イメージ、ロータリー財団、奉仕プロジェクト、あとは必要に応じて追加の委員会を任命できる」となっています。こういう形になりますと、組織図も変えなければならないかもしれません。

クラブの目的、というものが新たに追加されたようです。「本クラブの目的は、『ロータリーの目的』の達成を目指し、五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施し、会員増強を通じてロータリーの発展に寄与し、ロータリー財団を支援し、クラブレベルを超えたリーダーを育成することである」と明確に記載されるようになりました。

入会金が廃止されました。

例会について、テレビ会議のようなオンライン例会を認めるそうです。IT社会になって、こういうことになったようです。

会員になるための資格条件が今までは6項目あったのですが、全部消えて、「善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、職業上および(または)地域社会でよい評判を受けており、地域社会および(または)世界において奉仕する意欲のある人によって構成されるものとする」という1行だけになりました。

創立会員の最低人数は20名とするという規定が加わりました。

人頭分担金についても変わりました。2017-18年度は半年毎に米ドルで30ドル、2018-19年度は半年毎に米ドルで32ドル、2020年度は半年毎に34ドル、年々値上りする事が決まったそうです。

全部ご紹介するのは無理ですが、おっしゃっていただければメール転送します。ご意見がありましたら寄せていただきたいと思います。

私の年度にまとめるのは無理ですので、鈴木次期会長によりしくお願いいたします。

親睦委員会報告

木村委員長



今日の夜6時半から来年度の委員長の方々に集まっていますが、お時間の空いている方は是非お集まりください。

出席報告

渡邊委員長

20名出席(全員で24名) 出席率83.3%

プログラム委員会報告

服部委員長



7月12日に外部卓話で瀧川鯉昇(たきがわりしょう)一門の瀧川鯉輪(たきがわこいりん)さんという方に来ていただくことになりました。落語を一席ではなく、落語界のしきたりなどをお話していただくと思っております。それ以降のスケジュールのご手配は次期プログラム委員長の依田会員、よろしく願いいたします。

ご挨拶

ガバナー補佐 榊 隆夫 様



年度が終るにあたりまして、ご挨拶ということでガバナー補佐幹事と参上いたしました。

おかげさまで皆様のご支援とご協力での一年間、無事だったかどうか、充分だったかどうか甚だ心もとないところですが、終ることができました。本当にありがとうございました。会長幹事さんにもいろいろお世話になりました。皆様も行事にご参加いただき、ありがとうございました。

どの分区も同じようなのかなと思っていたのですが、他の分区はさまざまなクラブがあり、さまざまな運営がされており、10分区は粒の揃ったクラブでやりやすかったです。力不足で皆様のご期待に添えなかったと思いますが、これで終らせて頂くということで、本当にありがとうございました。

ご挨拶

ガバナー補佐幹事 鈴木桂三 様



今回の分区の行事は、7月早々のIMは僕は納得していないのですが、他のものに関してはなんとかやりきったと思っています。本当に、ご参加ありがとうございました。なんとかロータリアンらしい品格のある合同例会ができたかなと思っています。

50周年の時はポリオに対して多大なご寄付をいただき、ありがとうございました。次年度、私、地区のポリオの担当をさせていただきますので、引き続きよろしく願います。

幹事報告

丸田幹事



幹事報告は特にございませませんが、先週の金曜日に今年度のフェアウェルパーティに参加して参りました。その時に櫻木ガバナーからショッキングな話をうかがいました。千葉県内でロータリークラブがひとつ消滅するそうです。人数が少ないとやはり運営が厳しいのかなと感じました。ぜひ次年度に向けて会員増強を頑張っていきたいと思っております。ひとつよろしく願いいたします。

卓話

塩毛会員



私事ですが、これが50代最後の卓話になろうかなと思っております。

元々ものを建てるということに興味があります。

「一国一城の主」という言葉などがあるように、日本人は「城」という言葉に対して良いイメージを持っておられる方が多いかなと思います。くしくも姫路城に旅行に行こうという計画もありました。ちょっとだけ城の話をしようと思います。

日曜日の大河ドラマで真田丸というのをやっています。ドラマの題ですが、普通は墨で書いてあるのですが、真田丸は挾土秀平(はさどしゅうへい)さんという左官屋さんが赤土にコテで書いています。その道では有名な方です。

真田丸というのは大阪城を守るために作った小さなやぐらのような砦、城です。もともと城というのは、土に成る、と書くように、攻められた時に守ったり、食糧を備蓄したりするためのものでした。城に天守閣を作るようになったのは安土桃山城からだったようです。(次ページへ続く)

1600年に関ヶ原の戦いで、真田家の長男は東軍について、次男の幸村とお父さんは西軍につきました。幸村は負けたのですが、高野山の方に幽閉されました。1624年に抜け出してきて、また家康と戦うために大阪冬の陣で真田丸を作ったそうです。

国宝の城が4つありましたが、松江城が追加されて国宝は5城あります。

城にはいろんなからくりがあるようで、凶面は残っていません。

関ヶ原の戦いが終わった後の頃は築城ブームだったそうです。江戸初期というのは人口は1500万~2000万人くらいしかいませんでした。

柱が金物補強されている城、城の中に井戸がある城は松江城だけだそうです。

あまり言われない話の中に、人柱(ひとばしら)という話があります。橋や城を作る時には若い娘を人柱として埋めていたそうです。松江城も人柱を入れています。

最初に石積みをしていたら、石積みがなかなかうまく定まらず、これは人柱を入れなければならないということになり、夏の盆踊りで一番きれいな娘をさらって人柱にし、石垣も出来上がり、ちゃんと城が出来たという言い伝えがあります。それ以来、盆踊りをすると大地が揺れるため、今でも松江城の周りでは盆踊りはしません。

城には秘密のことがいっぱいあります。城を作る時にはけっこうな人数が集まりますが、城が出来上がると、口封じをすることもあったようです。松江城はそういうことはせず、隣の県の鳥取県の米子から人を連れてきて城を作り、その人達を一定の場所に住ませたそうです。今でも松江市には米子町という地名があります。

東京オリンピックで、江戸城を再構したらどうかという声が出ているのをご存知ですか。

江戸城は太田道灌が、関ヶ原の戦いの150年位前の、まだ徳川家康も何もいない頃に小さな城を作ったのがきっかけでした。

熊本城は加藤清正が作ったと言われていますが、もともと城があり、改修して改修して今の形にしたのが加藤清正だそうです。今は木造ではありません。昭和30年代の大改修で木造の約2倍の重さの鉄筋コンクリートにしたから、今回の地震で石垣が壊れたとも言われています。

江戸城は家康が来た時には大した城ではなかったのですが、金の延板がずら一と並べられたようなすごい城だったそうです。1600年代の大火で焼け落ちたそうですが、大火の後には、江戸時代は天下太平で戦もなく、威厳のあるものを作る目的もなかったし、ひどい火災だったので町を復興させる方にお金を使ったのか、銀行の融資がうまくいかなかったのか、江戸城は建て直されませんでした。

真田丸で小田原征伐をやっていますが、小田原評定(おだわらひょうじょう)という言葉があります。約1年くらい会議を重ねていたのですが結論が出ず、最後は北条家は滅亡してしまいました。

このくらいで30分でしょうか。ありがとうございました。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
佐藤会員	都知事の茶番でにぎやかです。	1,000円
	当日計	1,000円
	今期累計	416,000円

今週の表紙「船戸 天満神社」 千葉県柏市船戸1198番地

1616年(元和2年)創建の神社です。柏市の無形文化財に指定されている、船戸の「おびしゃ」という豊稔を祈る郷土芸能は大正時代までここで行なわれていました。おびしゃは1620年頃に始まったと言われ、船戸天満神社の氏子(うじこ)の方々によって今も受け継がれています。利根川の河川敷を見下ろす高台に社殿があり、3月上旬頃には梅が、3月中旬頃には河津桜が楽しめます。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。